



発行・カトリック水巻教会
 編集・広報委員会
 遠賀郡水巻町頃末南1丁目35-3
 〒807-0025
 TEL 093(201)0680 FAX(201)7354
 第352号

ホームページアドレス <http://mizumaki-church.sakura.ne.jp>

日本人に驚かされたこと

スティーブ神父

主の平和。

皆さんへ。日本に来る前に、私は日本についてインターネットやテレビなどで何も調べませんでした。なぜなら日本へ来る前に正しくない知識を頭に入れたくなかったからです。日本に来てから今まで、驚いたことがあります。その中で日本人の行動に驚かされた経験を三つ紹介します。

一つ目は、ある日散歩に出かけた時のことです。いろいろ立派な建物や美味しそうな匂いがするレストランやファッションブルな服屋をたくさん見てゆっくり楽しんでいたら、信号がない道に出ました。その時、車が来たので止まって待ちました。すると、運転手が車を止めて「どうぞ」と手を振って、道をゆずってくれようと思いました。私は意味が分からなかったのでどうしようと思ってそのまま立っていました。運転手がもう一度手を振りましたが、私は車の後ろを渡りました。何回もこれと同じ経験をして驚きました。恥ずかしいことかもしれませんが、私の国では信号があっても車を止めない人が多いです。ですから歩いている人は車が通りすぎるまで待つ、そのあとで道を渡ります。これに慣れている私は日本人の運転手がやったことに驚愕しました。

二つ目は、同じように散歩していて、道に迷ってしまった時のことです。ちゃんと左か右かを覚えていたのに全部忘れてしまって頭が真っ白になりました。在留カードしか持っていないで、住所と電話番号も覚えていなかったのも、とても困りました。「どうしよう」と思っていた時、向こうから日本人が歩いて来るのを見て、嬉しくて近づきました。そして、その時まで勉強した日本語を使って道を聞きました。その人は私が話した日本語を分かってくれて、インターネットで調べて、家までタクシーで送ってくれました。助けてもらって、ありがたかったです。こんなに優しくて親切な日本人に会って驚きました。きっと彼は私が話した変な日本語もわかったふりをしてくれたのだと思います。彼の顔はけっして忘れません。

三つ目は去年の夏休みに徳島と福岡へ行った時のことです。徳島から福岡まで新幹線で行ったんですが、のぞみじゃなくてこだまに乗り間違えてしまいました。時間がかかって、暇だったのでipadでゲームをやっている

天候異変が続いている	2・3面
幼稚園から	3面
委員会報告	4面
敬老会	5面
殉教と奴隷貿易	6・7面
お知らせ	8面

ると、一緒に行った友達が、とても遅いから広島でのぞみに乗り換えようと言いました。私は急いで荷物を準備したので、ipadを隣の席に置いたまま広島で降りてしまいました。のぞみに乗り換えたおかげで早く福岡に着いたので、晩御飯を食べてから家に行くことに決めて店に行きました。食べている途中でipadのことを思い出して、かばんを探しましたが見つけれませんでした。どこで忘れてしまったかと考えながら、駅まで走りました。駅員さんに困っていることを説明したら、一緒に探しに行こうと言って来てくれました。新幹線の中を探してみても見つかりませんでした。悲しくて泣きそうでしたが、駅員さんが、「前の駅で誰かが見つけて他の駅

員に渡しているかもしれません。大丈夫です」となぐさめてくれました。その後忘れ物が見つかったら連絡してくださいという書類を出して家へ帰りました。次の日、駅員さんからipadが見つかったので取りに来てくださいという電話がかかってきて嬉しかったです。ipadのような高い物を盗まないで届けてくれるなんて信じられませんでした。その日本人の正直さに驚かされました。

私は日本と日本人が好きなので、日本に来て良かったです。これからも宣教活動を続けさせていただきます。色々な活動を頑張りたいと思っているので互いに助け合いましょう。神様が私達の活動を祝福されますように。



天候異変が続いている

山口一隆

万年単位、或いは十数年万年単位による地球規模の天候異変から見ると、あり得る程度の異変だという気象学者もいるが、このような急激な変化は、明らかに異変だと考える学者もいる。

三十数年ほど昔、このまま人類が人口増、自然資源の消費、大気汚染が続けていけば、数十年後はこうなるという予想本を読んだことがある(残念ながら、本のタイトルを忘れてしまった)。地球の極のオゾン層を破壊するフロンが問題になった頃である。その時代に起こした自然破壊をあらゆる面から細かに分析した本であったが、ほとんど一気に読んだ記憶があり、何度か読み返しもした。

その中で一番記憶に残っていることがあ

る。皮膚病の多発である。それも北国から多発するようになるだろうと言うことだった。

その本を読んでから十数年後、新聞に北海道で皮膚ガンが増えているという記事が載った。ヨーロッパでも、ノルウェーやスウェーデンなどでも皮膚ガンが増えたと、その頃聞いていたので、予想本の記載した通りになってきていた。

予想本の発刊された三十数年ほどから、ほんの十年ほどさかのぼれば、太陽光を浴びるのは、健康のためによいとされ、夏場は真っ黒に日焼けした人々の姿が随所に見られた。現在では、紫外線を避けるための商品が売れに売れ、必ずしも真夏に黒くなるのが健康の印ではなくなっている。太陽の紫外線

を遮る効果を持ったオゾン層の破壊は、その後フロンの世界的使用禁止で止まっているそうだが、一度破壊された成層圏上空の穴は塞がれないままである。

温室ガス効果による地球規模での温度上昇は、極の氷を溶かし、海水の上昇で水没の恐れがある島国は数多い。平均気温の上昇が、近くの例を取っても様々に言える。五十数年前、暑いとは言っても、気温が30度越えるのは一夏に数度だったように思う。ここ近年は猛暑日(35度以上)が連日10日以上続く

ケースなど希ではなくなった。こうした現象は、先の予測本に書かれてあったことが現実化した現象だ。

世界的に自然破壊を何とか食い止めようとする活動が、国を超え小さな活動にまで広がっているが、国々の思惑から、なかなか足並みが揃わない。

ノアの洪水のように「人類の奢り」を見て神が全てを滅ぼそうとしている……などと言う気はないが、自然を敬う気持ちだけは忘れないようにしたい。



聖母幼稚園から10月のお知らせ

いつも水巻聖母幼稚園へのお祈り・ご協力ありがとうございます。

10月は行事がたくさんあります。ぜひ皆様ご来園ください。職員一同お待ちしております。

☆水巻聖母幼稚園 入園説明会 及び入園願書配布

10月1日(土) 10時～11時

この日より、入園願書を配布いたします。

☆大運動会

日時 10月8日(土) 9時～12時

場所 水巻聖母幼稚園 園庭 (雨天時は頃末小学校体育館)

☆モンテッソーリ教育 講演会

日時 10月19日(水) 10時～11時30分

講師 大濠聖母幼稚園 園長 綿貫真理先生

テーマ 自立～種に触れると未来が開く～

☆聖母バザー

10月29日(土) 10時30分～13時

私たち教職員はイエス・キリストに倣い、子ども達の幸せを祈りながら、一人ひとりに寄り添い、成長のお手伝いに心を尽くしていきます。

これからも、どうぞお祈りをよろしくお願いいたします。

水巻聖母幼稚園

園長 Sr 松川明子

職員一同

委員会等報告 2016年9月分

9月度小教区委員会議事録(抜粋) 9月4日

1. 行事予定

- ・信徒協レクリエーション大会 10/10(月)
於、新田原グラウンド。是非、参加してください。バスを出す予定です。
- ・ホームレス炊き出し 10/14(金)
お手伝いをお願いします。
- ・聖堂ワックス掛け、椅子の手直し 10/16(日) 庭の椅子のクッションが汚れたり破損しているため、ワックス掛けの日に合わせて、椅子の手直しをします。ご協力ください。
- ・大人の日曜学校 10/23(日) 前回好評につき、次回の講師も小田神学生にも依頼しました。

2. その他

- 体の不自由な方々のために、パリミッション会の遊休品の電動車椅子を貸して頂く話を進めています。
- ミサ後、駐車場で周りの車が動かないので、急ぎ帰りたくても動けず、呼び出しを行うことがあります。スムーズに帰れるよう、ミサ後用事のある方は、幼稚園の壁際に、バックで駐車するようお願いいたします。縦列に止められる方は、早く車を出すよう協力ください。用事がある場合は、一旦車を移動させてください。
- ミサの座席は、あとから来られる方が入りやすいよう、なるべく長椅子の中央から詰めてください。

○心のともしびを教会に来られていない方にも配布していく工夫をお願いします。各地区で話し合ってみてください。また、近隣にも、配るなど、心のともしびをより積極的に活用していきましょう。

○待降節の黙想会を12月10日(土)に行う予定です。昼食をはさんでの、1日黙想会の実施を考えています。

○四旬節の黙想会は、3月12日(日)を予定しています。ミサ後、昼食を挟んで、黙想会を開催する計画です。

○営繕献金・納骨堂規約等の今後の取り組みについて、検討する会議を立ち上げます。メンバーは小教区委員会の委員とします。第1回は10月2日(日)小教区委員会後、昼食をはさんで、13時から14時に行うことにしました。

○来年の巡礼旅行は、五島巡礼、5月3日～5日を企画しています。

○9月～10月にかけて、各地区で地区集会を実施していきましょう。

主要議題

- ・からしだね、心のともしびを教会に来られない方にも配布していく方法について。
- ・心のともしびを近隣に配る布教活動への活用について。
- ・黙想会の開催要領について、意見ヒアリング。
- ・信徒協レクリエーション大会、召命の集いへの参加呼びかけ。



水巻教会 敬老会



9月11日(日)当教会で敬老祝賀会が行われました。75歳以上の信徒を祝い、40名ほどが集まりました。田中会長のあいさつの後、もたきちさん(これは冗談で、吉田茂さんの名前を反対に読んで「ペンネーム」)による20分ほどの、素晴らしい歌声(多くは自作曲)が披露され、会場をなごませてくれました。そののち、豪華な弁当を囲み歓談、楽しい宴が続きました。



開会宣言? 田中会長



お顔立ちはまだ50歳



会は次第に、もたきち(茂田吉)さんの歌唱・演奏に移り・・・。



殉教と奴隷貿易

9月2日、時事通信から次の記事が出されました。「奴隷売買、公式に認める。178年ぶりの謝罪」 米名門私大ジョージタウン大は、1838年に運営母体のカトリック・イエズス会が、所有していた黒人奴隷272人を大学の財政難解消のために売却するなど、奴隷制と関わったことを公式に認めた。デジョイア学長は1日の演説で謝罪するとともに、該当する奴隷の子孫らに入学で便宜を図るなど和解策を実施する方針を表明。

このニュースを契機に、かねてから知ってはいた事なのですが、半ば隠されている事実を起こし、事態を明らかにしなければという思いにかられ、次を書かせて頂きます。

日本の戦国時代末期の禁教の中の信仰生活、そして殉教、それは紛れもなくキリスト教信仰を守ろうというキリスト教信徒の必至の戦いだったと思います。しかし、その背景に、宣教師を派遣した側（外国人側）では、キリスト教国を標榜する国がとても行うとは思えない行いがあり、かつ、それを豊臣秀吉をはじめとする為政者がどう考えたか、という視点があったようです。さらに通例は尊敬のみを集めてきたキリシタン大名の所作もあります。

戦国時代に存在した乱捕り（日本国内の豪族と豪族どうしの争いで、敵方の平民を連れてきて隷属させること。しかしこれは比較的緩い隷属で奉公程度で、短い期間で釈放された）が初動となり、そもそも日本人どうしの戦いで敗者側の領民としての緩い隷属だったはずが、転売を重ねられるうち、日本人庶民の海外への紛れもない「奴隷」としての売り飛ばしが行われた様です。

天正遣欧使節がヨーロッパで見たものは、壮麗な教会群と、キリスト教徒の敬虔な信仰生活だけではありませんでした。なんとそこで遭遇したのは、売買され送り出されたおびたしい日本人奴隷、特に女性たちで、彼らは次の様に書いています。『行く先々で日本女性がどこまでいっても沢山目につく。ヨーロッパ各地で50万という。肌白く見めよき日本の娘たちがつながれ、奴隷らの国にまで転売されていくのを正視できない。鉄の枷をはめられ、同国人をかかると遠い地に売り払う徒への憤りも、もともとなれど、白人文明でありながら、何故同じ人間を奴隷にいたす。ポルトガル人の教会や師父が硝石(火薬の原料)と交換し、インドやアフリカまで売っている』（一部、あまりに悲惨な表現もありましたが、削除しています。）一方、徳富蘇峰の『近世日本国民史』の初版に、秀吉の朝鮮出兵従軍記者の見聞録では、次のように載っているそうです。『キリシタン大名、小名、豪族たちが、火薬がほしいばかりに女たちを南蛮船に運び、獣のごとく縛って船内に押し込むゆえに、女たちが泣き叫び、わめくさま地獄のごとし』。

海外に送り出された日本人奴隷の出身地を見ると豊後（大分県）が多い。但し、前述した

とおり、日本人どうしの戦(いくさ)によって、敗者側の領民が乱捕りをされた可能性が高い。九州での乱捕りでは、多くが、長崎に送られた。そこで、そもそも「敗者の民」であった者を手にいれた日本人が奴隷を売る利益を動機に、そしてポルトガル人は労働力を得る動機から、海外、果てはヨーロッパまで、日本人が奴隷として売られた。そこで、日本の中の狭いポルトガル人社会ではあり、カトリックの宣教会もその一端を担ったことは否定できないようです。それどころか、日本人が奴隷になる際に、洗礼が授けられた。お分かりのとおり、この受洗に、キリスト教本来の意味があるはずがなく、「奴隷になる折に、神の恵みが受けられる」という言い訳に過ぎなかったと思われます。

さすがに、この状況は本国の有識者には目に留まることとなり、1570年、ポルトガル王ドン・セバスチアンの奴隷禁止の勅令は、「ポルトガル人が日本で行う奴隷取引が、キリスト教布教の拡大を妨げる」ことを理由に発せられたもの。しかし、同時に修道会も奴隷貿易に依存する状況にはあり、この廃止には時間がかかり、奴隷貿易への修道会の関わりが完全に断たれる状態になったのは、1598年、ルイス・デ・セルケイラが日本司教として長崎に到着し、奴隷取引に関わる者すべてを、教会法によって罰すると定められたことに依ります。

秀吉の伴天連追放令は、カトリック信者にとって、悲しみの1つですが、ただ「伴天連は追放」と書いてあるだけでなく、「大唐南蛮高麗へ日本仁を売遣候事可為曲事、付日本二をいて人之売買停止の事」(要約すれば、外国への日本人の売買を停止せよ)とあります。この禁令が、キリシタン禁令と同列で扱われているということは、日本人売買も、修道会の問題であるとの認識があるからと思われます。

ただ、この問題はこの問題として為政者は対処すればよいのであって、なぜ、あそこまでキリスト教信徒に厳罰と死が与えられねばならなかったのか、と思います。そこには、当時の信徒の信仰への熱い思いが大きければ大きいほど、政治施策にはむかってくるとの恐れ、また列強の植民地支配(長崎殉教の直接的引き金となったサン・フェリペ号事件では、「布教の次にはスペインの覇権の拡大がある」と船員が云ったらしい)、この道筋を為政者が感じてしまったということかと思ひます。

以上、当原稿の未整理、不消化を認めますが、信仰の道がいばらの道でも、その信仰を植えたはずの欧州人には、(むろん、色々な外国人が居たでしょうが)、1つの側面としてキリスト教布教以外の魂胆があったこと、それが殉教へ拍車をかけた事を、まずは隠さずに認識し、反省すべきではないかと思うのです。(広報委員 三谷)

<参考文献> 時事通信ニュース(internet)

別冊宝島 日本史再検証、キリシタンとは何か 宝島社

日本宣教論序説(第16回)、皆川尚一、日本のためのとりなしニュースレター(internet)

10月のお知らせ

★10月はロザリオの月★

10月はロザリオの月です。ミサの前、午前9時からロザリオを一連、唱えます。皆さんの参加をお願いします。

★教会聖堂のワックス掛け★

日 時：10月16日(日) ミサ後
今年も夏の暑い時期を避け、10月に行うようになりました。当日は、作業しやすい服装でおいでください。

★大人の日曜学校★

日 時：10月23日(日) ミサ後
場 所：水巻教会
前回に引き続き、小田神学生に話しをしていただきます。

★北九州信徒教レクリエーション大会★

日 時：10月10日(月) 体育の日
9時30分～15時
場 所：新田原グランド
今年度も、子どもから高齢者まで多くの人が気軽に参加できるような、内容になっています。

どうぞたくさんの方の参加をお待ちしています。

特に子ども達の参加が増えてほしいと思います。たくさん子ども達を含む、多くの信徒の皆様の参加をお待ちしています。

参加される方は聖堂後ろの用紙に名前をご記入ください。

★熊本地震災害募金★

76,280円
ご協力、ありがとうございました。

★特別寄付★

海老津地区の久保園明光様より、ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

★ホームレス支援★

日 時：10月14日(金) 11時～
場 所：水巻教会 信徒会館
流 れ：11時 集合 昼食
13時 作業開始
15時30分 弁当積み出し
17時 勝山公園へ搬入
(担当：橋本さん、古川さん)

お手伝いいただける方は、10月2日、9日の2日間、聖堂後ろに名簿を置いてありますので、名前をご記入ください。ご協力よろしくをお願いします。



【転入】ようこそ!水巻へ

◇瀬戸 正光さん
智子さん

長崎教区長与教会から

海老津地区へ